## 御禮に併せて

這般近火に際し弊舘も類焼せる如く傳へられ種々御芳情を賜りたり候へども右は全くの誤傳にして各位の御庇護により幸ひ類焼を免れ平常通り營業致したり候間何卒御心置きなく倍舊の御愛顧を懇願仕り候

昭和四年六月

平町搔槌小路（電話八四七番）

**ライト寫眞館**

館主　高田二果

---

内臓外科
骨關節外科
整形外科
産婦人科
院長

**專門藤本順**
**木村寅次郎**

平町新川町

外科
産婦人科

**木村病院**

電話一六四番

---

## 氷水開業廣告

弊店事蒲鉾製造販賣を開業以來各位の特別なる御引立を蒙り候段厚く御禮申上候夏期中は蒲鉾製造を休み氷水販賣に從事致し候につき何卒御用命御引立の程願上候

平町一丁目（電話一四一番）

電力應用　**藤寅**

アイスクリーム、ミルクセーキ、
みつ豆、あづきアイス、
其他清涼飲料一式　（出前迅速）

---

## 高久病院

院長　醫學士　高久忠
副院長　新潟醫學士　赤羽清
藥局長　藥劑師　佐竹菊雄

平町田町　電話五一三番

---

◆大帝キネ超特作の黄金篇
主演　松本田三郎、中村小福、尾上紋十郎

**前篇　二人吉三**　十巻
お坊＝田三郎　お嬢＝小福
和尚＝紋十郎

◆牧野獨得學生ローマンス
鐵骨……東郷久義猛闘主演

**鐵血團**　八巻

荒尾靜一住ノ江田鶴子助演

◆帝キネ現代劇
高木英雄監督作品

**人生の歌**　六巻

藤田林太郎　歌路英子主演
牧野根岸東一郎監督主演
マキノ正博補導

**親子鳥**　八巻

金子新　都賀靜子助演

◇料金普通◇
長尺の爲め六時半上映

**有聲座**

---

**御料理仕出し**

**うどん　そば**
**天ぷら**
**鰻蒲焼**

**まつ屋**

---

**看護婦派出の求めに應ず**

平町南町

**平看護婦會**

電話三〇七番

---

**體温器　寒暖計　貝藥局**

電話三〇番

---

二十一日替り

**外科**
**專門**
**科**

**專光線**

入院應需

**上田外科醫院**

平町南町
電話一二九番

---

**內科專門**

入院應需

消化器病科
呼吸器病科
小兒內科
一般內科

**渡邊內科醫院**

平町鼠坂（電話一六一番）

---

**原齒科醫院**

平町土橋通り電話三一番

---

三大名玉篇遂公開

◇壯快無比若者の意氣純情溢る微笑爆發抱腹悶死
◇バラマウンド百萬弗超特作大映畫
監督……ジョングレイ氏
大喜劇　野球　**ロイドのスピーデー**　全十巻
久し振にハロルドロイドが猛烈な野球狂となり例の愉快な笑ひを乘せて行くホームラン王
ベーブルース特別出演

◇阪妻プロ草間派大作映畫　草間實・泉春子主演
**天保俠炎錄**　全
原作……佐々木清雄・監督……小澤得二
助演……中村琴之助・月村節子・中村政太郎・伊東淳兆

◇河部五郎が退社に際し代役として大日活に新入社せる◆清川壯司が最も自信をもつて完成せる名篇
**逆轉**　全
伏見直江・尾上桃華・市川小文治・久米讓
原作……山村魏・監督……渡邊邦男

二十一日替り　料金普通
土日曜　高級映畫
學生デー　常設

**平館**　電話四六六





# 常磐毎日新聞

六月二十一日　夕刊

定價　一部金貳錢　一ケ月卅錢（郵税五厘）
廣告料　五號十二字詰一行一日　五十錢
休刊日　大祭日・祝日ノ翌日

福島縣石城郡平町長橋町三五
常磐毎日新聞社
電話六三〇番

日刊
發行兼編輯人　川崎文治
印刷人
本社ト同番地（電話六三〇番）
印刷所　常磐毎日印刷所


寄書

## 昭和の商人

三越秘書　小林茂吉

（下）

一般人士の所要せられし物品を出來るだけの廉價を以て供給することは社會の爲にこそなれ、決して卑しいことでも恥しいことでもないのである、或は商人は儲けるから卑しい、と言はれるかも知れない、なる程不當な利を貪るやうなことは確かに卑しいに違ひないが原價に一割なり一割五分なりの手數料を掛けて販賣する……併も押賣りでなく顧客の求めに應じて供給することは卑しくも恥しくもない、立派な一職能と言はなければならぬ。

斯樣に公正な賣買をなせば無數に顧客に媚びる必要もなく、逐次顧客からも信頼され尊敬されることになるのである、とは言へ、茲に留意しなければならぬことは、商人はいくら自尊心が出來たからと言つて、苟にも驕傲な態度や粗雑な言辭を用ひてはならない司法官や警察官が不良な人民に對する時などは威嚴を示す必要もあるやうだが、そんな場合を除いては官吏ですら親切叮嚀な言動が望ましいのであるから、まして商人となつては飽くまで態度や言辭は叮嚀で眞摯でなければならぬ。品位を保つことゝ驕慢になることとを取違へては大變である。

斯くして自己の職業の眞價が判つてくれば自身の社會に對する責任も、はつきりしてくる隨つて德育方面の修養や研學と云ふ事にも努力することになり、益々世人からも尊敬せられて、私共商人の地位を向上さする所以となるのである。

# 全員勢揃へして けふ初町會

## 傍聽者場外に溢る 總花式委員割當て

平町の初町會は本日午前十時からとの事で臨時議場の元郡會議事室には定刻前から詰め掛けた傍聽人が場外へ溢れて窓の邊りに鈴なりとなる盛況であつたが、町議の面々は各派の代表が大和屋に會合委員の割り當てに就いての交渉會に暇取り顔揃へとならぬ爲め定刻に至るも開會する事が出來ず約一時間遲れて午前十二時漸く開議の鈴が鳴り響く、各議員は高橋亀松氏を先登に一名も洩れなく當選順に依つて一先づ議席に着き、席定まるを待つて伏見町長やをら身を起し壇下に降り慇懃な態度を以つて

『本日平町會改選後第一回の町會を開き各位と親しく絃に相會する事を得たるは本職の喜びとする所である、本町の進展を圖る上に是非和衷協調を保たれん事を希望する』

と簡單に挨拶を述べ全員拍手を以つて是れに答ふ、次いで席次番號の抽籤に移り

一番　佐藤岩次郎
二番　荒川淺次郎
三番　萩原義雄
四番　佐々木龍若
五番　武田元之助
六番　永山富廣
七番　大森勇
八番　根本品藏
九番　國府田直良
十番　齊藤敏實
十一番　馬目武之助
十二番　吉村安治郎
十三番　櫻井清
十四番　鈴木光吉
十五番　吉田寅之輔
十七番　千葉彦治
十八番　吉田五平
十九番　井上茂作
二十番　花澤兎五六
廿一番　猪狩庄平
廿二番　青沼鋒太郎
廿三番　石山治三郎
廿四番　野崎滿藏
廿五番　高橋亀松
廿六番　關内正一
廿七番　柳下元吉
廿八番　荒川恒次郎
廿九番　坂本隆藏
三十番　綠川喜三郎

と決定夫々着席伏見町長から會議錄署名人として佐藤岩次郎、綠川喜三郎の兩氏を指名し愈よ議事に入んとするや吉田寅之輔氏議長を呼んで起ち『先般の町議改選に當り町長が四名の選擧立會人を擧ぐるの際候補者の事務長二名を加へたるは甚だ奇怪である、事務長は候補者の代理者である、是れを立會人に加ふる事は選擧嚴正を保ち得ないと考へられる』と難詰したが町長是れに取り合はず次いで鈴木光吉氏が町是調査會や町の財政方針を尋ぬる所あり町長は『質問が廣範に亘るを以つて適當の機會にお答へする事にする』旨を答へ『縣稅家屋稅賦課方法の件』の審議に入り伏見町長は家屋稅の當町配當額は二萬四千三百六十三圓十錢であつて是れを前年度に比較すれば十二圓四十四錢の減を示して居る、而して前期分は一萬二千百八十一圓五十五錢、此賦課坪數四十萬七千九百三坪七合、課率二錢九厘八毛六朱であつて地區等級等は昭和三年度の議決を襲用する

と一應の説明を爲し議決襲用に關し青沼鋒太郎、馬目武之助兩氏と町長との間に質問應答あり二三讀會を省略原案通り可決、續いて『出納檢査立會議員三名選擧の件』を上提、井上茂作氏起立

平町の進展に鑑み同議員を五名に增員し議長の指名に依つて決し度しと述べ滿場異議なく修正動議成立し伏見町長は出納檢査立會議員に

萩原義雄、佐々木龍若、青沼鋒太郎、野崎滿藏、坂本隆藏

の五氏を擧げ其他委員何れも議長の推薦にて左記の如く決定總花式の決定を見

（土木委員）馬目武之助　吉村安治郎、吉田寅之輔　吉田五平、高橋亀松、荒川恒次郎、綠川喜三郎

（第三小學校建築委員）佐藤岩次郎、荒川淺次郎　佐々木龍若、永山富廣、根本品藏、齊藤敏實、鈴木光吉、井上茂作、花澤兎五六、石山治三郎、武田元之助

（第四小學校建築委員）萩原義雄、大森勇、根本品藏、國府田直良、千葉彦治、吉田五平、猪狩庄平、關内正一、櫻井清

（役場建築委員）國府田直良、齊藤敏實、馬目雅治、井上茂作、花澤兎五六、猪狩庄平、野崎滿藏、柳下元吉、坂本隆藏、

引續き區長及び同代理者の辭任及び推薦等あり午後十二時廿分休憩、午後一時半から再會する事となつた

## 各議員の 所屬別

### 四派に分れて

各議員の所屬別を擧ぐれば左記の如くである

（昭和會、民政）野崎滿藏、萩原義雄、吉田五平　吉村安治郎、馬目雅治、柳下元吉、武田元之助、櫻井清、佐藤岩次郎、荒川淺次郎、永山富廣、

（公友會、政友）高橋亀松、井上茂作、千葉彦治　國府田直良、石山治三郎　佐々木龍若、

（一新會、中立）青沼鋒太郎、大森勇、花澤兎五六、荒川恒次郎、齊藤敏實、綠川喜三郎

（中正會、中立）坂本隆藏、關内正一、猪狩庄平　馬目武之助、鈴木光吉、根本品藏

## 官行製炭所 卅日限テッ廢

### 從業者轉職

平營林署管内の石城郡三坂村の官行製炭事業は本年三月三十一日を以て廢止したことは既報の如くその後二ケ月餘に亘り事業を整理し現在では殘務整理にとゞまり全く終了の域に達しいよ〳〵三十日事業所を撤廢することに決定したこれにつき同事業所の從業員家族共三百名の將來を平營林署でも非常に懸念して善後策を講じその大半は戸渡製炭事業所に移し他は轉業することになり何等支障を來さない模樣である

## 明日の天氣豫報

東北の風　曇り勝ち　驟雨模樣



# 選擧異議申立は委員附托

選擧異議申立審議に臨しては種々議論沸騰したが結局井上茂作氏の動議に依り七名の委員附托となり伏見議長は馬目武之助、馬目雅治、千葉彦治、井上茂作、花澤兎五六、青沼鋒太郎、野崎滿藏の七名を指名した

### 鰯の鹽燒

材料――三人前　鰯三十匁、筍五匁、里芋七十匁　メリケン粉三匁、ゴマ油七匁、ホウレン草三十匁　鹽（以上　蛋白質三六七瓦カロリ六六八となる）

調理法――鰯は腹を開いて臓腑を去り鹽を撒布して炭火で燒く、里芋はタワシでよく洗ひ卸金にておろし筍は外皮を取り去り全量の三分の二を里芋と同樣におろし、三分の一を薄く短冊に切りてまぜ更にメリケン粉及び少量の鹽を加へ、適宜の大きさにして煮立つたゴマ油にて程よく揚げる、ホウレン草はザットゆでる皿に鰯の鹽燒、筍のボール、ホウレン草を体裁よくもります

◇　◇

# 起工式以來……

## 小名濱町一躍膨張

### 六十五戸六百餘人の激增

### 町營住宅を計劃

商港實現の歡喜にみちてゐる小名濱町は這般の起工式以來遽に躍進しつゝあり

**早くも**　完成後の活況を越して各地より入込む者が多く海岸地帶は勿論本町通り高臺の別莊地に至るまで住宅店舗等が逸日建築され起工式後一ケ月を經ざる今日既に六十五戸增加し人口は又一躍六百餘人を增加し偉大な膨脹を示し全町

**活況を**　呈してゐる

この趨勢に鑑み同町では空家など早くも皆無になるは當然の事であるので町營住宅を建設すべく適地の物色中であると共に目下それぞれ調査準備中である

## 平地方の 出繭が減少

### 平驛發送噸數

石城郡方面に於ける春繭は昨今漸く出廻り期となり各繭市場、各製糸場出張所、仲買人の手でそれ〴〵賣買されてゐるが十二日繭の出廻り始めから十九日までに平驛から發送された出繭は特別小口七噸、小口十五噸貸切五十三噸、計七十五噸で六百五十七個であつた、前年と比較して幾分減少の氣味であるが之は平町に設立された片倉磐城製糸株式會社が繰業を開始して繭の買入れを開始したのと桑不足の結果の生産量が減少した爲めであるが平驛から發送された輸出先は縣内では福島、郡山、原町方面縣外では中央線岡谷、常磐線我孫子方面である

## 舊校舍改造し 青年會館に

### 勿來町に

勿來青年團が多年の懸案だつた青年會館の設立に就ては小學校の新築に伴ふ舊校舍の一部を町より讓り受け相當改善を加へて使用すべくそれ〴〵交渉中であつたがこの程町會に於て漸く三十餘坪の舊校舍を一棟無償にて青年團に讓渡する事に決したので同團では目下農繁期でもあり今秋迄に一千餘圓の工事費を投じて手入をなす事となり完成の曉は模擬會辯論會等を開催すると同時に各種の集會場として廣く實用に供すべき意氣込みで着々準備中である

## 電話申込 百口突破か

### 昨年より多い

平郵便局における今年度電話申込受付は全國一齊にさる十七日より二十七日まで十一日間行はるゝことは既報の如く同局では申込の十七日より受理してゐるが十六口に達した申込期限までには百口以上になる見込で昨年の三十口に比し三倍以上の多數に上ると觀られてゐるこれは概ね負擔金低下によるものであるらしい